

# 第一編 《調査研究部》

## 第1章 本年度の調査研究

### 1 研究主題

いきいきとした生活をするために

～自己肯定感と人との関わりを通して～

### 2 主題について

調査研究部では、子どもがいきいきとした生活をするためには、自己肯定感を持たせることが大切であると考えます。ここで言う「いきいきとしている様子」とは、「自らを受容し、環境を肯定的にとらえ、積極的に関わり、それによって何かが変わると自信を持っている様子」とする。また、「自己肯定感」とは、「自分はかけがえのない大事な存在だ。」と思える気持ちをとらえている。

昨年度は、(1)自分自身について(2)家庭・地域との関わり(3)学校生活について、という3つの場面に分け調査し、その結果から、自己肯定感を持たせ、子ども達がいきいきとした生活をするための手だてを提言した。家庭や地域においては「人との関わりを大切にすること」と、学校において「子ども達の居場所を作ること」の2点である。

しかしながら、課題も2点明らかになった。「自己肯定感が低くなる原因と有効な指導法の調査のあり方」と「自己肯定感と人との関わりの調査のあり方」である。

昨今、いじめ、引きこもり、衝動的な暴力等々、様々な社会問題が挙げられている。目の前の子ども達を見ても、自信が持てない、積極的に活動できない、頑張りがきかないなど自己肯定感の低いと思われる子どもの姿が増えてきている。そこで、自己肯定感を高めるためには、人との関わりが重要であると考えて本研究に取り組むこととする。これは、昨年度の研究の課題を明らかにしていくことにもつながっていく。具体的には、人との関わりとして、自分自身、家族、教員、友達の4つの視点からの調査をする。そして、この調査結果を手がかりに、自己肯定感の高い子どもや低い子どもの意識のあり方を明らかにし、自己肯定感を高めるための有効な指導法を提言できればと考える。

### 3 研究目的

- (1)自己肯定感と人（自分自身、家族、教員、友達）との関わりを明らかにする。
- (2)人との関わりの中で、自己肯定感を高めるための有効な指導法を提言する。

### 4 調査の内容と方法

#### (1)調査対象及び内容

##### ①調査対象

安房管内の小学校4年生、6年生、中学校1年生、2年生。(安房教育研究所所員の所属する小中学校を中心に依頼)

##### ②調査内容

- ・自己肯定感に関すること
- ・学校や家庭での過ごし方
- ・家族，教員，友達との関わり方

(2)調査時期 平成24年9月上旬

(3)アンケートの回収数

- ・小学校 17校 4年生 604名（抽出数 200名）
- ・小学校 17校 6年生 541名（抽出数 200名）
- ・中学校 8校 1年生 630名（抽出数 200名）
- ・中学校 8校 2年生 658名（抽出数 200名）

(4)調査方法

自己肯定感の高さの指標として，慶應義塾大学の研究による「自尊感情測定尺度」を参考に，自己肯定感の高い児童・生徒と低い児童・生徒を類別する。

データを表計算ソフト Excel に入力し，グラフ化，比較・検討する。また，データの一部を，統計処理ソフト SPSS を使ってクロス集計及び  $\chi^2$  検定を行い，有為差を調査し，相関関係を調べる。

## 5 研究経過

月	研究活動	内 容	月	研究活動	内 容
5	総務会 第1回所員研究会	今年度の計画 研究テーマの検討	11	教育座談会	ディベート形式「学力向上のための，地域を挙げた取り組み」
6	第2回所員研究会 第3回所員研究会	研究テーマの検討 調査の視点の検討	1	第7回所員研究会 第8回所員研究会	調査結果の分析と考察 研究紀要の作成と計画
8	第4回所員研究会 宿泊研修会 第5回所員研究会	アンケート作成 アンケート作成 アンケート配布	2	第9回所員研究会 研究発表会	研究紀要原稿作成 研究結果発表
9	教育研究集会	アンケートの回収及び集計	3	総務会	今年度の反省とまとめ 次年度の見通し
10	第6回所員研究会 県外研修視察	調査結果の分析と考察 埼玉大学教育学部附属 小学校			

## 第2章 調査研究の分析と考察

### 1 「いきいきとした生活」と「自己肯定感」との関連

#### (1) 安房の子ども達の生活に関わる意識

いきいきしている様子

自らを受容し、環境を肯定的にとらえ、積極的に関わり、それによって何かが変わると自信をもっている様子。

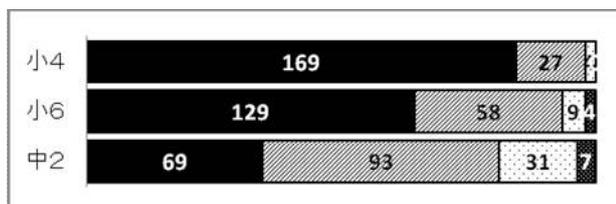
普段、子ども達と接している中で子ども達がいきいきと生活していないと感じられることがある。そこで、昨年度の研究で子ども達の意識が実際どうなのかを調査した。

全体的な傾向として、肯定的なものが多かった。しかし、学年に関わらず4分の1程度の子どもが否定的な回答をしている。否定的な回答が4分の1以上をしめるものもあったことから、子ども達がいきいきとしていない様子がうかがえた。さらに、学年が上がるにつれてその傾向は強まり、特に中2に関しては 顕著であった。

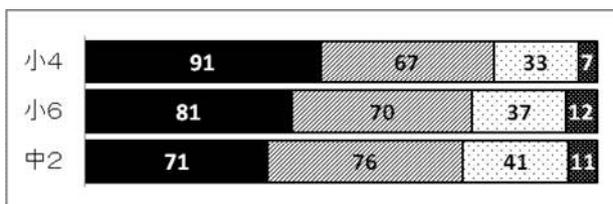
#### 昨年度のアンケート結果（一部抜粋）

■ そう思う    ▨ わりとそう思う    ▩ あまりそう思わない    ▤ そう思わない    ≡ 無回答

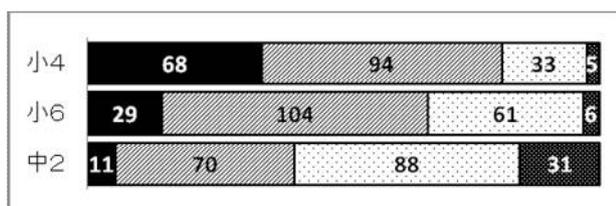
家族といるのが楽しい



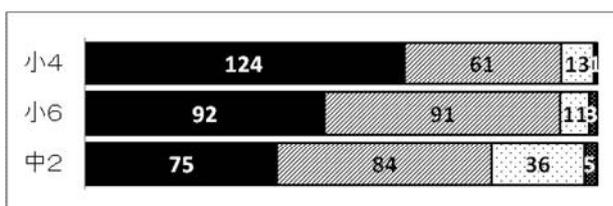
部活や特別練習をしているのが楽しい



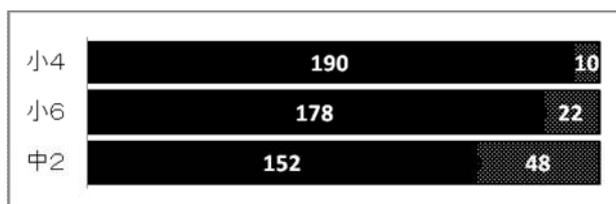
授業をうけるのが楽しい



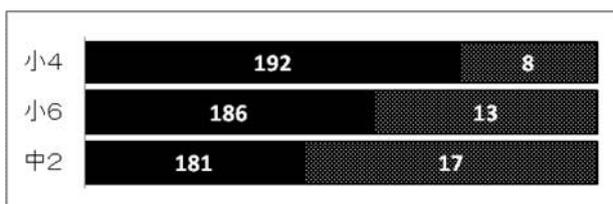
学校行事に参加するのが楽しい



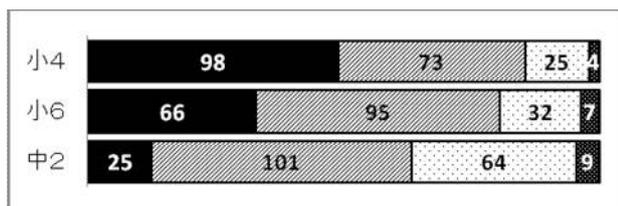
将来「やってみたいこと」や「なりたい職業」など自分なりの「夢」がある



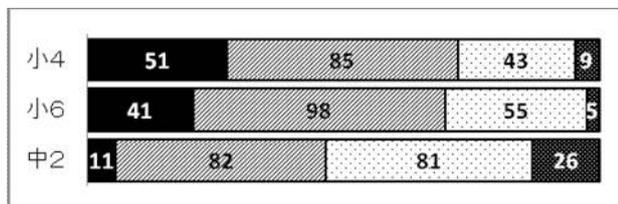
苦しいけれどがんばったことや、大変だったけど楽しかった経験がある



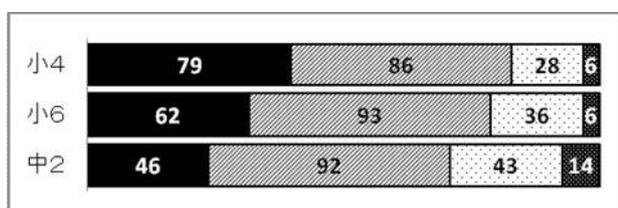
目標に向かって努力している



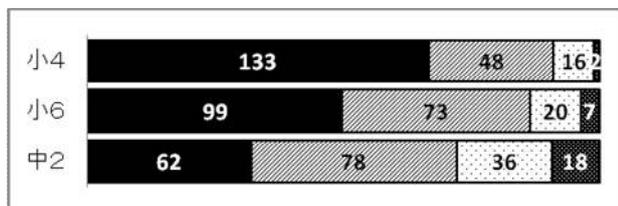
勉強で難しい問題でもあきらめずとりくむ



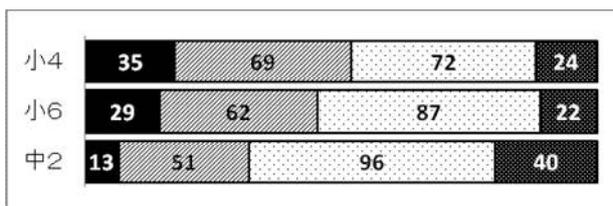
学校行事に積極的に参加する



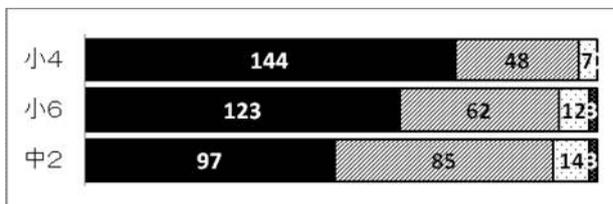
自分のクラスが楽しい



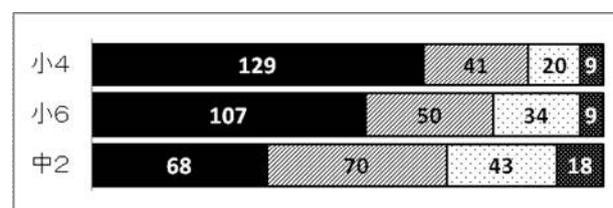
自分の考えをみんなの前で発表している



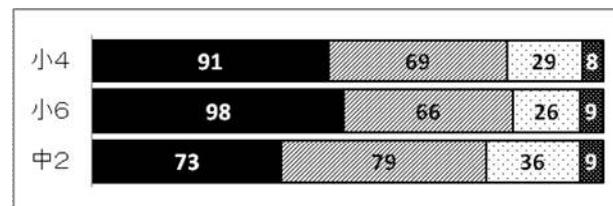
友だちとなかよく遊ぶ



部活動や特別練習に積極的に参加する

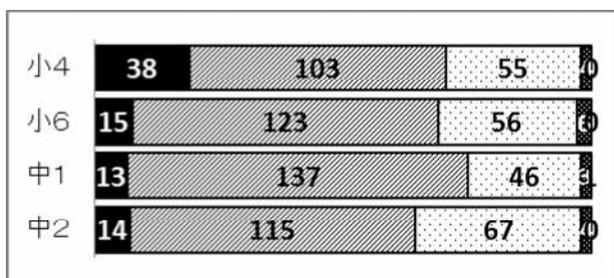


地域の行事に参加する

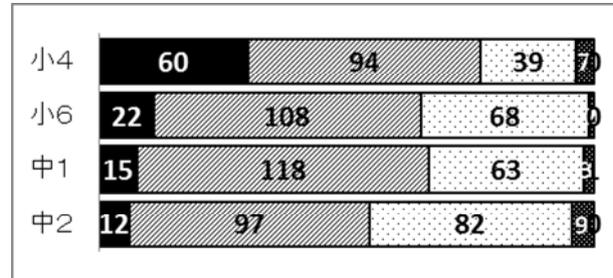


今年度は、よりいきいきしている姿について、『自らを受容し、環境を肯定的にとらえ、積極的に関わる』という視点で、より具体的にアンケートをとった。

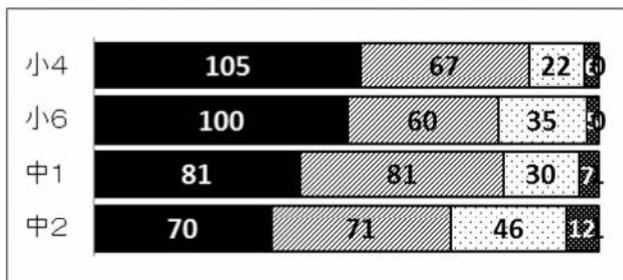
相手の気持ちがわかる方である



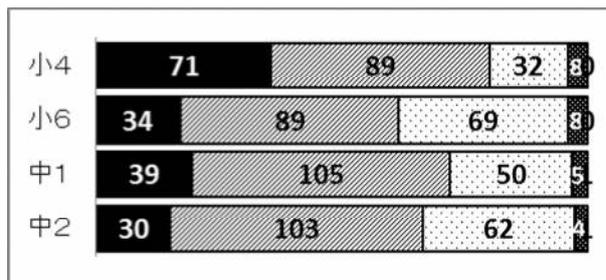
目の前の活動に対して、具体的なめあてを持つことができる



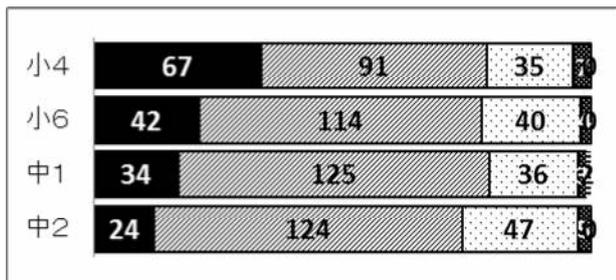
提出物や宿題を決められた日までに出すことができる



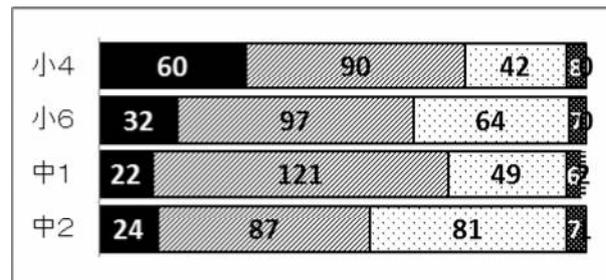
困ったことがあったら、調べたり相談したりして、こうしたらよいという考えを持つ



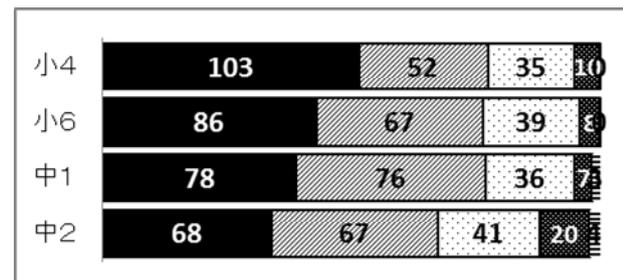
自分は経験したことや学んだことを他で生かしている



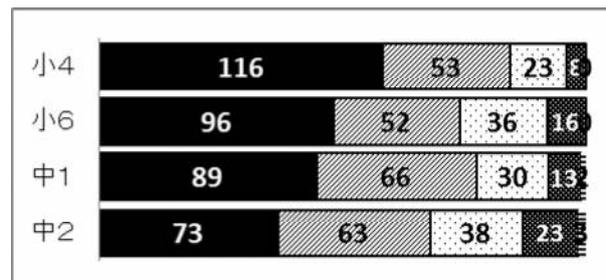
体験や活動をした時に自分を振り返っている



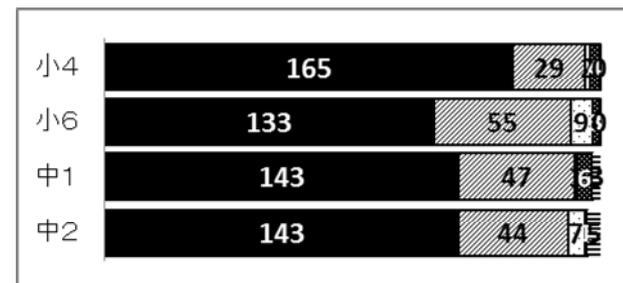
家族と学校での出来事をよく話す



朝起きた時、家族とあいさつをする



友達といることが楽しいと思う



昨年度同様全体的な傾向として肯定的なものが多いが、学年に関わらず4分の1程度の子どもが否定的な回答をしているものが見られる。中2に関しては9項目中8項目で否定的な回答をする子どもが4分の1以上である。めあてと振り返りに関する項目では、半数近くが否定的な回答をしていることがわかる。

(2) 「自己肯定感」について

自己肯定感とは、「自分はかけがえのない大事な存在だ。」と思える気持ちととらえる。

自分という存在を否定するのではなく、欠点や短所も含めてありのままの自分を肯定的に認め、自分らしさを好きになり、身近な人間関係の中で自分を価値あるものとして思えるようになることが大切である。また、自分だけでなく他者も含め肯定していけることも大切である。

## ～安房教育研究所調査研究部で考える「自己肯定感」について～

上記「自己肯定感」に自尊感情測定尺度（慶応義塾大学）の5つの観点を参考にする。

- |             |              |            |
|-------------|--------------|------------|
| A 自己評価      | B 自己受容       | C 関係の中での自己 |
| D 将来展望や自己決定 | E 精神的強さ、落ち着き |            |

この中の自己評価（自分には良いところがある。）、自己受容（私は自分のことが好きだ。）、関係の中での自己（私には自分を必要としてくれる人がいる。）をベースに他のアンケート項目と関係を考察する。

### （3）群別に分けると

本調査では、以下の質問項目をもとに、調査対象児童を自己肯定感が高い群と低い群に分け考察していくこととする。

#### 質問項目

- ・自分にはいいところがたくさんある。（自己評価）
- ・自分は自分のことが好きだ。（自己受容）
- ・自分は人から必要とされている。（関係の中での自己）

※「そう思う」…1点、「わりとそう思う」…2点、「あまりそう思わない」…3点、「そう思わない」…4点と点数化し、3項目の合計点が7点以下を「高い群」、8点以上を「低い群」とした。

各学年の分類は以下の通りである。

	高い群（人）	低い群（人）
小4	103	97
小6	78	122
中1	59	141
中2	58	142

調査より、小4では、自己肯定感が高い子どもの方が多いが、小6、中1、中2は低い子どもの方が多くなる。また、学年が上がるほど、自己肯定感が高い子どもが減少していく。

## 2 自己肯定感の高低による子ども達の様子

安房の小学4年生、6年生、中学1年生、2年生の自己肯定感と子ども達の様子について

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| (1) 自分自身について | (2) 家族とのかかわり | (3) 教員とのかかわり |
| (4) 友達とのかかわり |              |              |

という4つの視点に分け、自己肯定感の高い群と低い群についての比較をした。なお、以下のグラフでは自己肯定感が高い群を肯定高、低い群を肯定低と表す。

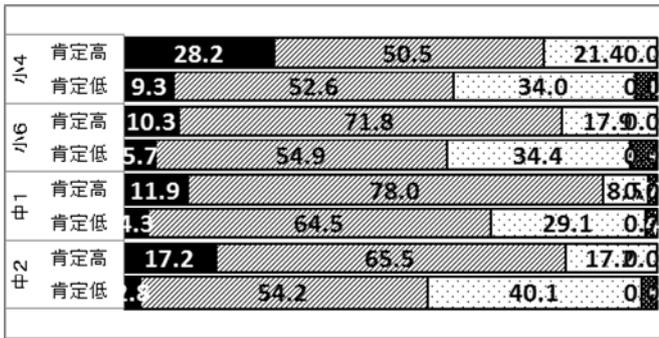
質問に対する回答パターン表示は次のとおりである。

- |  |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|
|  そう思う |  わりとそう思う |  あまりそう思わない |  そう思わない |  無回答 |
|--|---|---|---|---|

また、データは統計処理ソフト SPSS を使って  $\chi^2$  検定を行い、有意差を調査し、相関関係を調べた。表中では有意差  $p$  を \* で表示する。有意差は数値が小さいほど相関が強いことを示す。 $(p \leq .010 \dots$  「\*\* (かなり相関が強い)」,  $0.010 < p \leq 0.050 \dots$  「\* (やや相関が強い)」)

(1) 自分自身について

ここでは、子ども達自身が自己のことをどうみているか調査し、考察する。



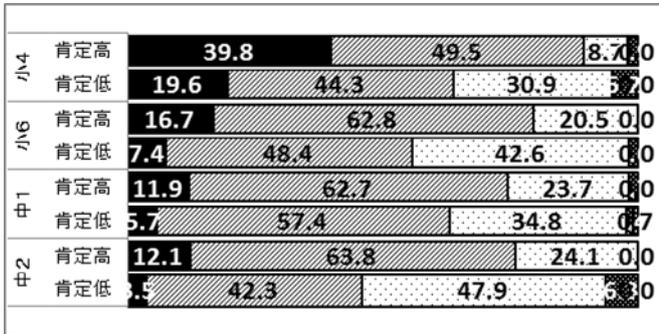
(小4 .001\*\* 小6 .008\*\* 中1 .006\*\* 中2 .000\*\*)

3. 相手の気持ちがよくわかるほうですか。

全学年で相関関係が強く見られる。

自己肯定感の高い群の方が相手の気持ちがよくわかると思っている割合がとても高い。

「そう思う」「わりとそう思う」と答えた割合で、中1肯定高い群89.9% 肯定低い群68.8%と他の学年に比べて数値が高い。



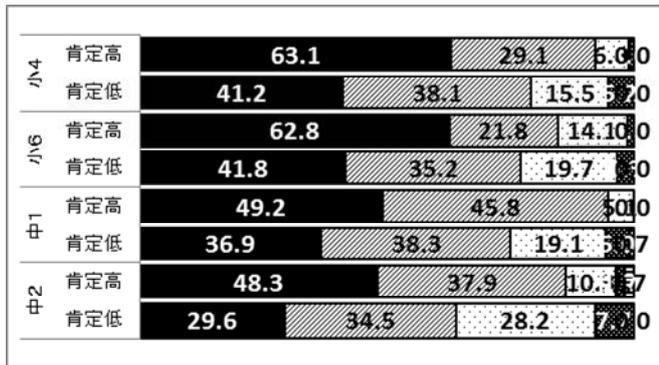
(小4 .000\*\* 小6 .003\*\* 中1 .269 中2 .000\*\*)

4. 目の前の活動に対して、具体的なめあてを持つことができますか。

中1以外で相関関係が強く見られる。

自己肯定感が高い群の方が具体的なめあてを持つことができる意識が強い。全体の傾向として小4の数値が1番高いことがわかる。

中1・2の肯定感が高い群の数値は、ほとんど同じである。中2の肯定感が低い群の数値は、どの学年よりも低い。



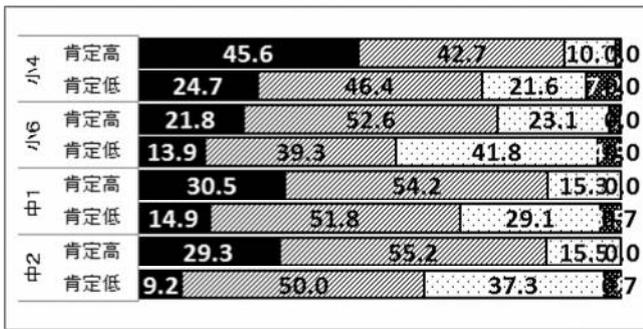
(小4 .007\*\* 小6 .034\* 中1 .015\* 中2 .006\*\*)

5. 提出物や宿題を決められた日までに提出することができますか。

全学年で相関関係が見られる。

自己肯定感が高い群の方が提出物や宿題を決められた日までに提出と思っている割合が高い。相関関係については小4・中2については強い相関関係が見られる。

中1が「そう思う」「わりとそう思う」と答えた割合が自己肯定感の高い群 95.0%他の学年に比べて高い。



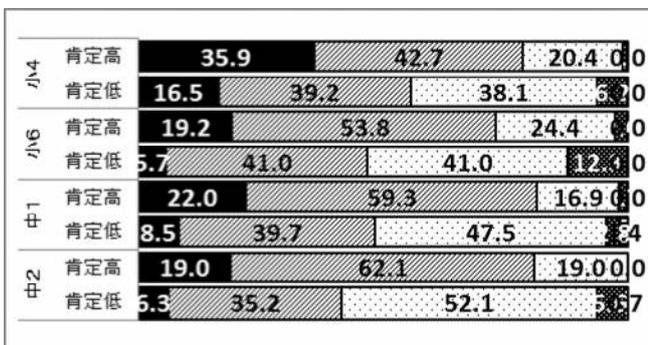
(小4 .002\*\* 小6 .028\* 中1 .015\* 中2 .000\*\*)

6. 困ったことがあったら、調べたり相談したりして、こうしたらよいという考えを持てますか。

全学年で相関関係が見られる。

自己肯定感が高い群の方が困ったことがあったら、調べたり相談したりして、こうしたらよいという考えを持てると思っている割合が高い。

中学校の自己肯定感の高い群は、中1と中2で似た傾向が見られる。



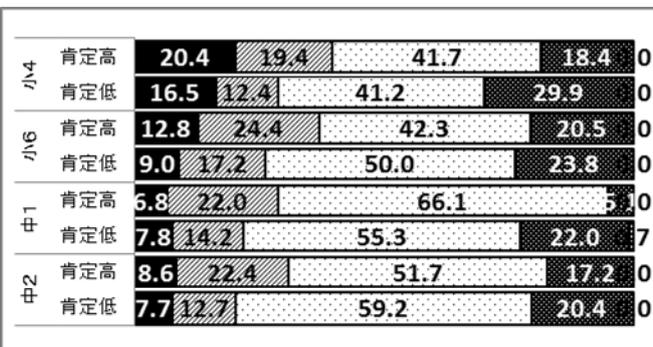
(小4 .001\*\* 小6 .000\*\* 中1 .000\*\* 中2 .000\*\*)

7. 理由をはっきりさせて、人に自分の考えを伝えることができますか。

全学年で相関関係が強く見られる。

自己肯定感が高い群の方が理由をはっきりさせて、人に自分の考えを伝えることができると思っている割合がとても高い。

中学生の自己肯定感の高い群の方が、「そう思う」「わりとそう思う」と答えた割合が小学生の自己肯定感の高い群より高い。



自分の考えを通す
  自分の意見を中心に考える  
 友だちの意見を中心に考える  
 友だちの考えをそのまま受け入れる
  無回答

(小4 .196 小6 .441 中1 .024\* 中2 .366)

8. 友達の話聞いていて、自分と考えが違った時、どうすることが多いですか。

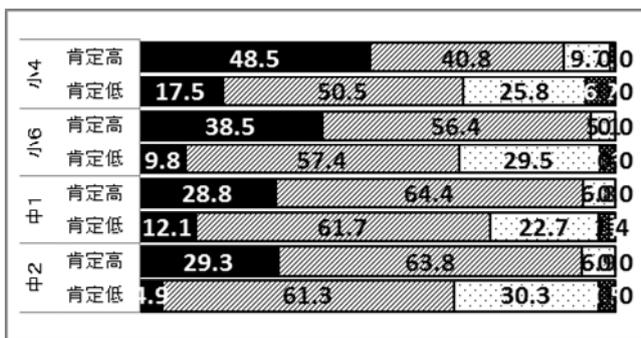
相関関係はあまり見られない。

相関関係は中1以外あまり見られない。

どの学年も自己肯定感の高い群の方が「自分の考えを通す」「自分の意見を中心に考える」と答えた割合が低い群より高くなっている。

学年が上がるにつれて自分中心に考える割合はやや低くなっていく。

中1は自己肯定感の高低により、「友達のをそのまま受け入れる」と考える割合の差が大きい。



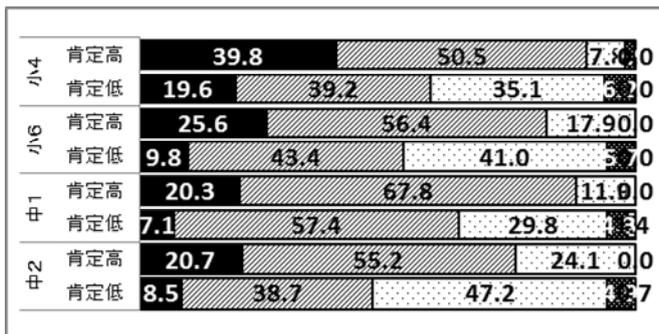
(小4 .000\*\* 小6 .000\*\* 中1 .003\*\* 中2 .000\*\*)

### 9. 自分は経験したことや学んだことを他で生かしていますか。

全学年で相関関係が強く見られる。

自己肯定感が高い群の方が自分は経験したことや学んだことを他で生かしていると思っている割合がとても高い。

学年に関係なく自己肯定感の高い群、低い群ともに似た傾向が見られる。

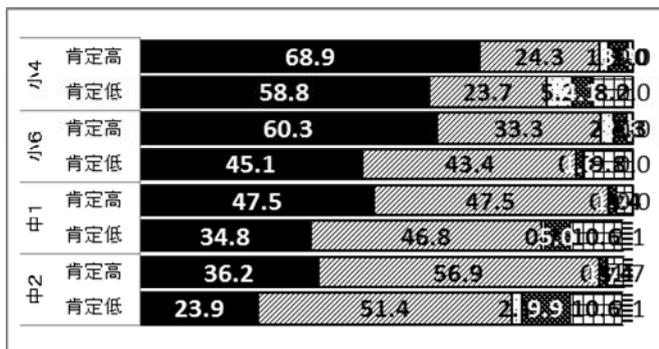


(小4 .000\*\* 小6 .000\*\* 中1 .002\*\* 中2 .001\*\*)

### 10. 体験や活動をした時に自分を振り返っていますか。

全学年で相関関係が強く見られる。

自己肯定感が高い群の方が体験や活動した時に自分を振り返っていると思っている割合がとても高い。



■ 家族      ▨ 友達      ▩ 学校の先生  
 ■ その他の人      □ いない      ≡ 無回答

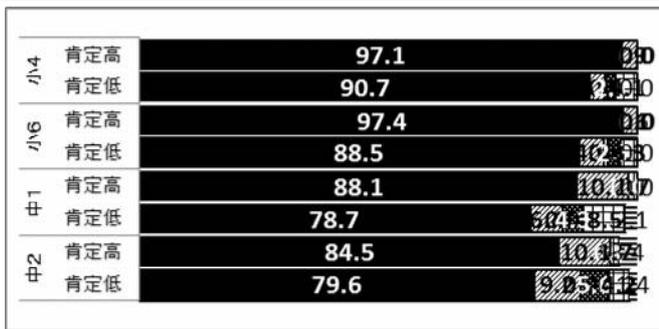
(小4 .085 小6 .017\* 中1 .216 中2 .044\*)

### 15. 自分の悩みを一番話せる人は誰ですか。

小6、中2で相関関係が見られる。

学年に関係なく、自己肯定感の高い群の方が、悩みを家族に話すと答えた割合が高い。

学年が上がるにつれて、自分の悩みを一番に話せる人を「友達」と答える割合が高くなり、「家族」と答える割合が低くなる。



■ 家族    ▨ 友達    □ 学校の先生  
 ■ その他の人    □ いない    ▨ 無回答

(小4 .086 小6 .186 中1 .084 中2 .240)

17. あなたを一番大切に思ってくれている人は誰ですか。

全学年で相関関係が見られない。

学年に関係なく、家族が自分を一番大切に思ってくれていると感じている割合が非常に高い。

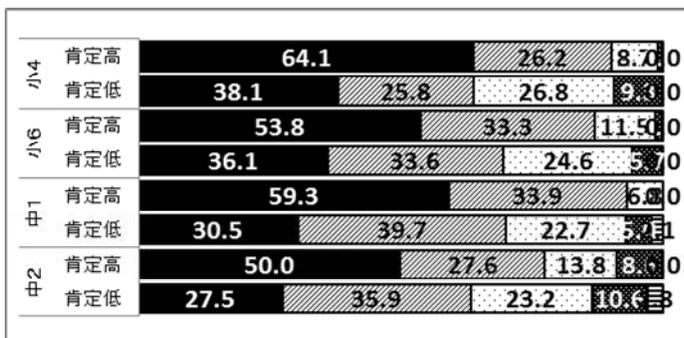
学年が上がるにつれ、友達と答える割合が少しずつ増えてくる。

### 考察

- ・自己肯定感が高い群の方が活動に対してめあてを持って取り組めることがわかる。そして、めあてを持ってとりくむことで充実感が生まれ自己肯定感の形成に関係していると考えられる。
- ・中1がどの学年より数値が高いのは、新しい環境になって自分の生活意識を見直そうという意識の表れが関係していると考えられる。
- ・小6の数値が低いのは、中学校へ上がる不安や、最高学年として不安や悩みが他の学年の子どもより多いことが考えられる。
- ・自己肯定感の高い子どもの方が自分の考えを伝えることが得意と意識しているのがわかる。自分への自信があることが関係していると考えられる。
- ・自己肯定感の高い子どもの方が体験や経験したことを振り返り、それを他の活動で生かそうとすることがわかる。自分を見つめ、次はより良くしようという意識の表れであると考えられる。
- ・自己肯定感の高い子どもの方が、家族が自分のことを大切に思ってくれていると感じ、悩みを相談できる。家族の関わり方が自己肯定感の形成に関係するのではないかと思われる。
- ・自己肯定感の高低に関わらず、学年が上がるにつれ大切に思ってくれる人や悩みを相談できる相手が家族から友達に変わってくるのは、家族に相談できない悩み等出てくるためであると考えられる。

### (2) 家族について

ここでは、子ども達が家族とのかかわりについてどのような意識をもって生活を送っているのか調査し、考察する。

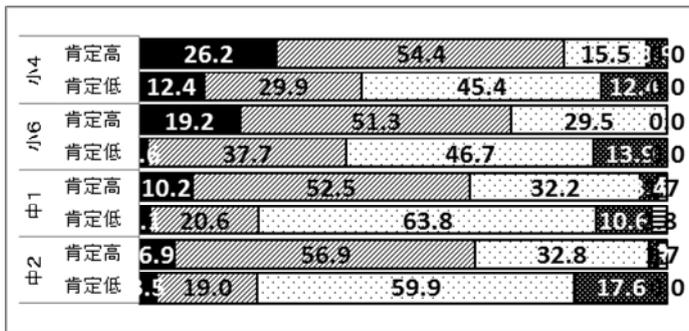


(小4 .000\*\* 小6 .018\* 中1 .000\*\* 中2 .032\*)

19. 家族と学校のできごとをよく話しますか。

相関関係が、小4・中1で強く見られる。

自己肯定感の高い群と低い群の差は、小4で26.4%、小6で17.4%、中1で23.0%、中2で14.7%となり、自己肯定感の高い群の方が学校のできごとを家族とよく話している割合が高い。



(小4 .000\*\* 小6 .000\*\* 中1 .000\*\* 中2 .000\*\*)

### 23. 自分は家でよくほめられますか。

全学年で相関関係がとても強くみられる。

自己肯定感の高い群と低い群で、「そう思う」「わりとそう思う」と答えた割合は、

小4 肯定高 80.6% 肯定低 42.3%

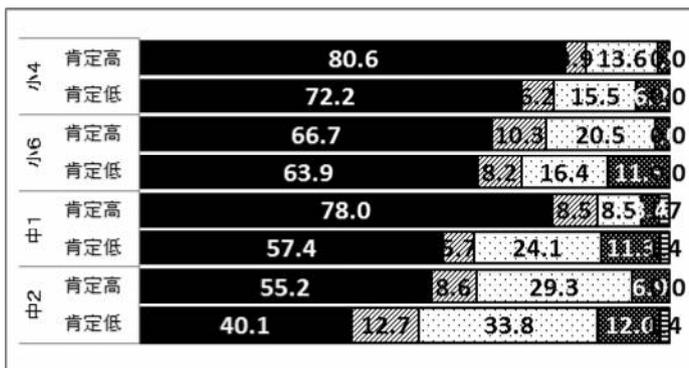
小6 肯定高 70.5% 肯定低 39.3%

中1 肯定高 62.7% 肯定低 22.7%

中2 肯定高 63.8% 肯定低 22.5%

となり、自己肯定感の高い群の方が家でよくほめられていると思っている割合がとても高い。

また、自己肯定感の高い群と低い群の差は小4で38.3%、小6で31.2%、中1で40.0%、中2で41.3%となり自己肯定感の高い群と低い群による相関関係もとても強く表れた。



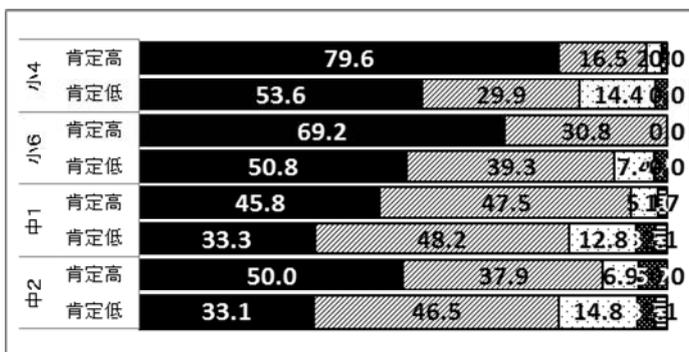
### 26. 家でしかられたときどんなことを思いますか。

中1で相関関係が強く見られる。

中1のみ、自己肯定感の高い群のほうが、家でしかられたときに「自分が悪い」と思っている割合が高い。

■ 自分が悪かったと思う    ▨ なんで怒られたかよくわからない  
 □ そんなことで怒ることはないと思う    ■ なにも感じない

(小4 .339 小6 .142 中1 .010\*\* 中2 .271)

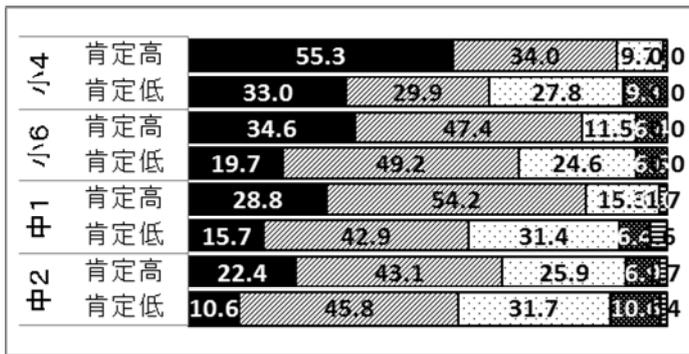


(小4 .001\*\* 小6 .010\* 中1 .104 中2 .110)

### 27. 家族は自分のためを思って、声をかけたり注意したりしてくれますか。

小学生では、相関関係が見られるが、中学生では見られない。

小学生のみ自己肯定感の高い群の方が、家族が自分のためを思って声をかけてくれると思っている割合が高い。



(小4 .000\*\* 小6 .039\* 中1 .006\*\* 中2 .154)

29. 自分が困っているとき、家族が解決してくれますか。

中2以外で相関関係が見られる。

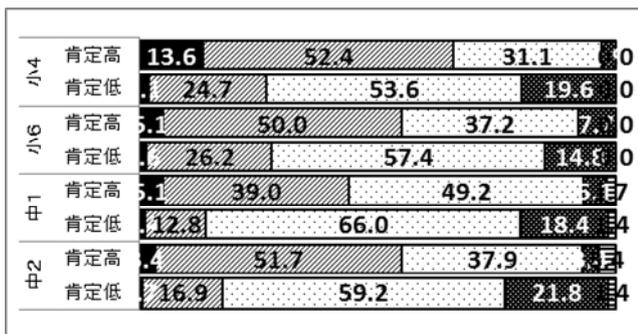
全学年で、自己肯定感の高い群の方が、家族が解決してくれると思っている割合が高い。

### 考察

- 自己肯定感の高い群の方が家でよくほめられているという意識を持っている。自己肯定感を高めるために家庭でほめることが大切であると考えられる。
- 自己肯定感の高い群の方が、家族と学校の話をしたり、家族が自分のことを考えてくれていると感じたりしており、家庭内で良好なコミュニケーションがとれていると考えられる。いろいろな話をするこことやほめる・しかるなどのコミュニケーションを積み重ねることが自己肯定感の形成につながると考える。
- 中1までは、困っているときに家族が助けてくれると思っている割合が高いが、中2になるとその割合が低くなる。これは、頼るべき相手が家族から友達に移行していることが理由であると考えられる。家族から自立するという意識が芽生えてくる大切な時期と言える。

### (3) 学校

ここでは、子ども達が平日の多くの時間を過ごす学校で、教員との関わりについてどのような意識をもって生活を送っているのか調査し、考察する。

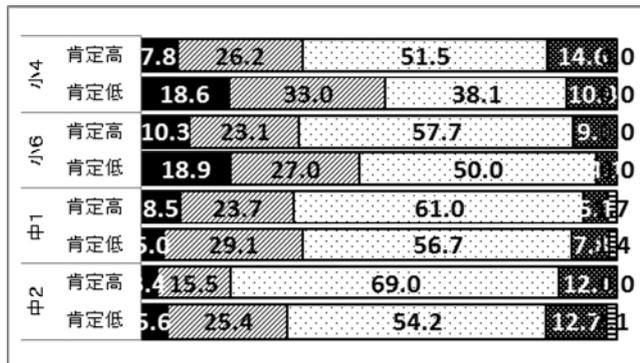
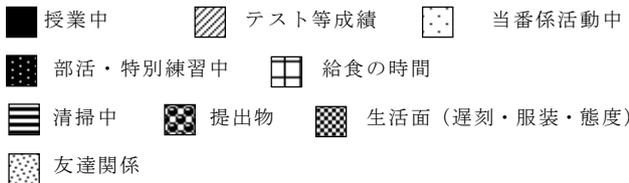
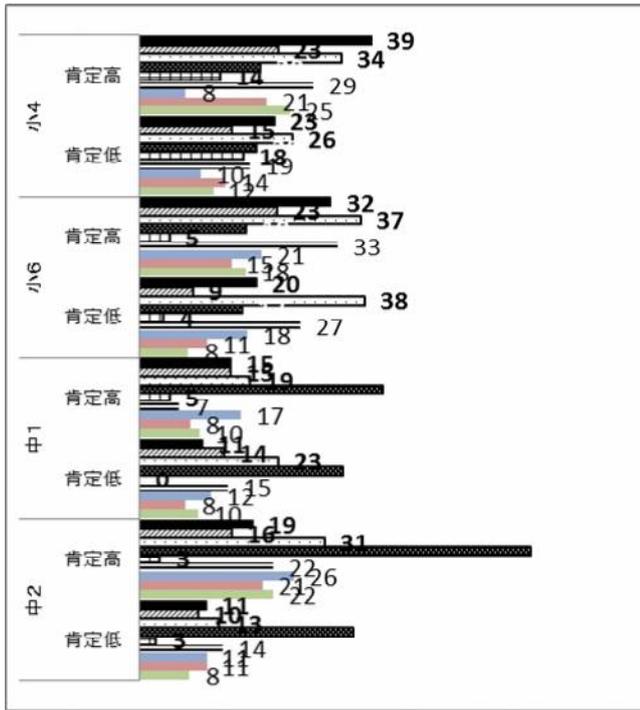


(小4 .000\*\* 小6 .002\*\* 中1 .000\*\* 中2 .000\*\*)

31. 自分は先生からよくほめられますか。

相関関係が強く見られる。

自己肯定感の高い群の方が先生からよくほめられると思っている割合がとても高い。しかし、どの学年も先生からよくほめられると思っている割合は70%を下回っている。中学生の肯定感が低い群については20%を下回っている。



(小4 .047\* 小6 .173 中1 .602 中2 .301)

### 32. どんな場面でほめられることが多いですか。

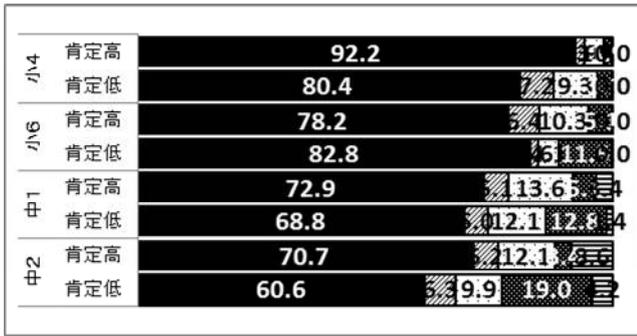
テストや当番・部活など、やることがはっきりして結果が表れるものをほめられていると思っている子どもが多い。

中2の自己肯定感の高い群の部活動と答えた割合がとても高い。

### 33. 自分は先生からよくしかられますか。

小4のみ相関関係が見られる。

自己肯定感の低い群の方が、先生からよくしかられると思っている割合が高い。しかし、中1は、自己肯定感が高い群と低い群の割合はほぼ同じである。



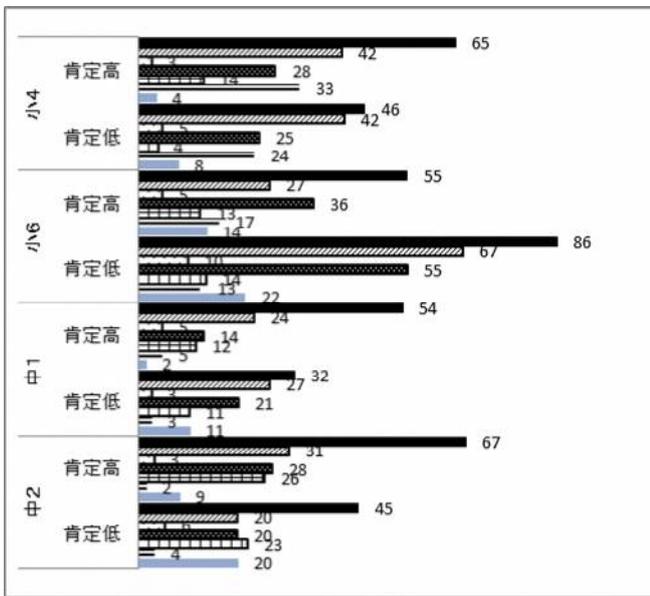
■ 自分が悪かったと思う  
 ▨ なんて怒られたかよくわからない  
 □ そんなことで怒ることはないと思う ■ なにも感じない  
 (小4 .094 小6 .044\* 中1 .472 中2 .048\*)

### 35. しかられた時どんなことを考えますか。

小6と中2のみ相関関係が見られる。

小6以外は、自己肯定感が高い群の方がしかられた時、「自分が悪かったと思う」児童の割合が高い。また、自己肯定感が低い群の方が「何も感じない」割合が高く、その傾向は学年が上がるにつれて顕著になる。特に、中2に関しては自己肯定感の高い群、低い群で大きな差が見られる。

自己肯定感の高い群の方がしかられたことを素直に受け入れる傾向がある。



■ 勉強がわからない時    ▨ 人間・友達関係のトラブル  
 □ 家族の悩み    ■ クラス全体の色々な問題  
 ▨ 部活・特別練習の時    ▨ 休み時間一緒に遊ぶ  
 ■ 関わってほしくない

### 36. 先生に関わってほしい時はどんな時ですか。

どの学年も学習面に関する事で関わってほしいと思っている割合が高い。

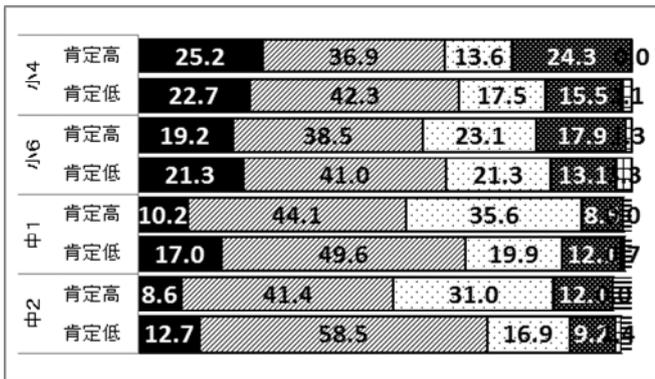
自己肯定感の低い群の方が、先生に関わってほしくないと思っている割合が高い。しかし、小6のみ、自己肯定感の低い群の方がほとんどの場面で先生に関わってほしいと思っている割合が高い。

・自己肯定感とほめられる経験の相関が強いことより、機会を見つけ意図的にほめることが必要である。

・自己肯定感が高い群の方がしかられたことを素直に受け入れることができるので、しかられたことが自分自身の成長につながるであろうと考えられる。また、しかられる理由がわからない子供がいることから、しかる際にはその理由をはっきりと伝えることが必要である。自己肯定感の高低に関わらず、教員に対して学習面での関わりを求めている。教員は、学習面での関わりを多く持つ必要がある。

#### (4) 友達について

ここでは、友達との関わりについて調査し、考察する。



■ 1, 2人    ▨ 3~5人    □ 5~9人  
 ■ 10人以上    ≡ いない

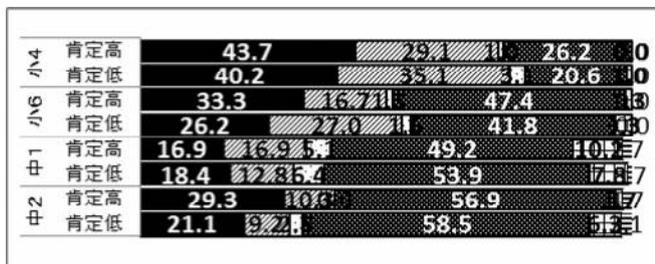
(小4 .281 小6 .783 中1 .139 中2 .092)

#### 37. よく一緒にいる友達は何人いますか。

全学年で相関関係があまり見られない。

自己肯定感の高い群、低い群に関わらず、「10人以上」と答えている割合は学年が上がるにつれて低くなっている。

小学生ではあまり変わらないが、中学生では自己肯定感の高い群と低い群では「5~9人」と答えた割合の差が大きい。



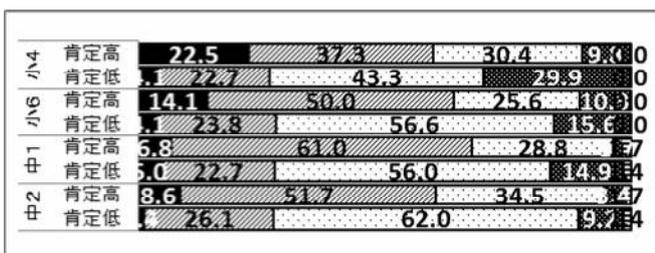
■ スポーツや体を動かす遊び    ▨ ゲームを一緒にする  
 □ 本や漫画を読む    ■ 会って話をする  
 ≡ メールや電話をする

(小4 .471 小6 .380 中1 .326 中2 .327)

#### 39. 友達と何をしている時が一番楽しいですか。

全学年で相関関係があまり見られない。

全学年とも自己肯定感の高い群と低い群による差はあまりみられない。学年が上がるにつれて、「体を動かす遊び」から「会って話す」割合が高くなる。

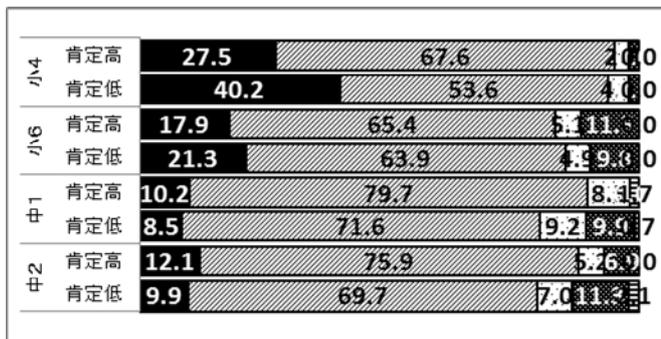


(小4 .000\*\* 小6 .000\*\* 中1 .198 中2 .000\*\*)

#### 40. 自分は友達からよくほめられますか。

中1以外で相関関係が強く見られる。

各学年とも自己肯定感の高い群の方が、友達からよくほめられると思っている。また、自己肯定感が高い群の方が「そう思う」「わりとそう思う」と答えた割合が、低い群に比べ2倍ほど高い。



■ 自分で先生に言う    ▨ 友達に先生に言うようにすすめる

□ 2人で内緒にしようとする

■ 気がつかなかったことにする

(小4 .271 小6 .936 中1 .073 中2 .709)

42. 仲の良い友達が教室でボールを投げていて、花びんを割ってしまいました。それを見てあなたはどうしますか。

全学年で相関関係は見られない。

全学年とも自己肯定感の高い群, 低い群に関わらず, 「言うようにすすめる」割合が最も高い。

中学生は小学生に比べて「先生に言う」割合が低い。

### 考察

- ・よく一緒にいる友達が「10人以上」の割合が, 学年が上がるにつれて低くなっていくのは, 本当の友達・本音でつきあうことのできる友達を探していることだと考えられる。
- ・学年が上がるにつれて, 会って話す割合が高くなるのは, 話をして, 自分の立場や居場所を確保したいためであると考えられる。
- ・自己肯定感の低い子は, 自分自身のことを認めることができていないので, 友達からも認められないと思っている。自分自身に自信がないため, 友達からほめられるような行動も起こしにくいのではないかと考えられる。

## 第3章 研究のまとめ

### 1 意識調査の結果から

自己肯定感の高い子の、低い子と比較して際立った高い意識傾向を、

(1)「自分」自身 (2)「家族」とのかかわり (3)「先生」とのかかわり (4)「友だち」とのかかわりの4つの視点でまとめた。

データをもとに、自己肯定感の高低と強い相関関係をもつ項目について、自己肯定感の高い子を中心にまとめたものが以下のとおりである。

#### (1)「自分」自身

- ・相手の気持ちがわかる。
- ・具体的なめあてをもっている。
- ・提出物、宿題を出している。
- ・調べたり、相談したり、こうしたらよいという考えをもっている。
- ・理由をはっきりさせて、人に自分の考えを伝えている。
- ・経験したことや学んだことを他で生かしている。
- ・体験、活動で自分を振り返る。
- ・困ったことがあったら、調べたり相談したりして、こうしたらよいという考えをもつことができる。

#### (2)「家族」とのかかわり

- ・悩みを家族に話す。(年齢が上がると「友だち」に移行。)
- ・家族を大切にしている。(年齢が上がると「友だち」に移行。)
- ・学校のことをよく話す。
- ・家でほめられている。
- ・家族が自分のことを思ってくれている。
- ・家族が助けてくれている。

#### (3)「先生」とのかかわり

- ・先生にほめられている。  
小学校は、主に授業中。他、係当番、清掃中。中は部活・特別練習。  
\*自己肯定感の低い子は、しかられている意識が高い。  
授業では、ほめられることは少ない。
- ・しかられたことに素直に対応。

#### (4)「友だち」とのかかわり

- ・友だちがほめてくれている。

以上の項目は、自己肯定感の高い子の意識傾向であり、自己肯定感の低い子は、列挙した項目内容についてマイナス傾向である。

### 2 「自己肯定感」にかかわる他の研究成果から

本研究では、自己肯定感を高めるための有効な指導法を提言する目的から、「1」の意識調査の

結果とあわせて、以下のとおり列挙した他機関の研究成果を積極的に活用する。

- ・学年が上がると自己肯定感が低下する。(東京都教職員研修センター研修部教育開発課)
- ・日本と他の国の児童(小5)の自己意識を比較すると、否定的な自己意識をもっている。  
(福武書店教育研究所「モノグラフ・小学生ナウ vol.14-4」1994)
- ・自分を否定的にみる割合が多少の差はあれ増加している。  
(ベネッセコーポレーション「モノグラフ・小学生ナウ vol.19-3」1999)
- ・自己肯定感の高い子は、生活習慣(寝る時刻、家族と話す、手伝いをする)が高い。  
授業理解度が高く、欠席や遅刻が少ない。低い子はその逆。  
(京都教育大学教育実践紀要 第10号 2009)
- ・勉強の自己評価が高い子どもほど「困っている人を助けたい」「友だちをたくさん作りたい」  
などの意欲・願望が高い。  
(大都市における児童・生徒の価値観に関する調査 東京都生活文化局 1981)
- ・自己肯定感の低い子は、他者に助けを求めない、他者に期待を抱かない、嫌われたくないと  
いう感情をもたない。(「自尊感情や自己肯定感に関する研究報告書」慶応大学 2010)
- ・自己肯定感を高めるには、部活動への意欲、教師との関係、学習意欲、進路に対する意識、  
友人関係を良好にすることが大切。(東京都教職員研修センター研修部教育開発課)

### 3 自己肯定感を高めるための指導(提言)

以上「1」、「2」の研究成果から、人とのかかわり(先生、家族、友だち)が自己肯定感を高めるための重要な要素となっていると考える。

そこで、特に我々教育実践者の立場から、研究の成果を基に以下のキーワードを基にした指導の充実が求められる。

(1) 授業の充実

①授業理解度を高める。

- ・学習意欲を高める授業・・・問題解決，教材，教具の工夫
- ・わからない時の積極的な教師の支援

②授業内容

- ・成長の振り返り　・個性の発見　・進路　・家族愛　・友情

③授業方法

- ・友だちや家庭，地域との関わりをもたせる。  
グループ学習，みがきあい，保護者と共に学ぶ，地域人材活用

(2) 人間関係能力の醸成

①教師との人間関係

- ・遊ぶ
- ・話す　会話，日記　悩みの相談  
進路指導には積極的に関わる。

②友人関係

- ・遊ぶ　レクリエーション　協力作業
- ・部活動での協力
- ・悩み相談

③家族関係

- ・家族の大切さ　家庭行事の重視　家族への手紙　家族で協力作業

(3) 生活適応能力の育成

①子どもの居場所作り→行きがいのある学校

②宿題のできない子への対応

③家庭教育の喚起（早寝，早起き，食事の会話，手伝い）

(4) 部活動　中学校

- ・意欲的な活動の工夫

「1」の意識調査の結果から、「家族」「先生」「友だち」それぞれのかかわりの中で、「ほめられている」ことが自己肯定感にプラスに働いていることである。

そこで，上記のような指導の充実を図る過程において，特に大切にしたいことを提言としてまとめると，

「ほめること」の重視

である。人（家族・先生・友だち）とのかかわりの中で，できた喜び，成長した喜び，努力したことをほめることである。

#### 4 課題

(1) 自己肯定感を育むための実践を「ほめること」を重視して，「3」に示したキーワードを基に教育活動を展開し，評価していくことの積み重ねを大切にしたい。

(2) 自己肯定感を育むためには，「1」の結果から，家族とのかかわりが大きい。家庭の教育力を生かした教育活動を展開することが重要である。

(3) 自己肯定感が低くなる要因は、日本を取り巻く環境が多分に関係している。

- ・日本人は、自己肯定感が他国に比べて低い。子どもの意識以外に、日本の社会意識（高い子＝自己中心、プライドが高い）という自己肯定感についてマイナスのイメージが根強く残っているのではないか。そこで、子どもを取り巻く環境（教師、子ども、保護者）をどのようにとらえ、期待し、評価していくかが課題である。

## 《研究発表会における講師からの指導》

1 研究発表日 平成 25 年 2 月 5 日（火）

2 講師 鈴木智夫 先生（千葉県教育庁南房総教育事務所安房分室 指導主事）

3 指導内容

(1) 研究テーマ及び内容について

- 昨年度の反省、講師の指導が生かされて今年度の研究が行われていた。
- いろいろな文献に自己肯定感について様々に書かれている。本研究では、「生き生きとしている様子として」「自己肯定感とは」について、先にふれて確認していた。自己肯定感について、こういう部分が大切であるということを受けながら調査に入っていた。主題の確認をしながら進められていた。

(2) 調査内容、報告方法について

- 自己肯定感の高低の違いで子ども達の様子の違いがはっきりと出ていることを感じた。自己肯定感の高い子、低い子だからそうなったのか。自己肯定感を育むのに子ども達の生育歴でかなりの部分ができていくということもある。そういうところを確認しながら進めていくことが大切だと感じた。
- 資料の中で、自己肯定感の高い群、低い群に分けられていた。小 4 は半々だが、中学 1・2 年生は 1 対 3 くらいの割合だった。圧倒的に低い群の方が大きな集団になる。パーセントで処理されていたので問題ないともいえるが、50 人と 150 人の母数を比較するのはいかがなものかということを感じた。
- アンケート対象が所員のいる学校なので、昨年の中 1 と今年の中 1 は違う子が多いのだろうが、それでも昨年の中 1 の学年の子達の中 1 に上がってどう変わっているかというのは、参考にしてもいい。
- 自己肯定感の高い群、低い群についての比較のデータだけであった。確かにその比較が中心の内容なので、そこに絞って説明しているのはいいが、それぞれの項目について特徴的な部分には少しふれて考察の参考にしてもいいのではないか。
- 「ほめる、しかる」の設問では、学校で「先生からよくほめられますか」では小 4 でやっとなら半分、中学生になると 1/4 しかよくほめられているという実感がないというのは、とても少ない。
- 家庭での数に比べて「ほめられる」も「しかられる」も、どちらも学校の方が明らかに少ない。

- 「友達からよく注意される」数が少ない。もっと仲間同士の関わりがあって言い合って生活をよくするという感覚がかつてはあった。リーダーや仲間同士の関係が学年・学級をよくしていく。今は関わりが弱くなっていることを感じる。
- 提言に結び付けていくのに参考になることであれば、ふれて提言に導いていく糧としてもよい。

(3) まとめ、提言について

- 調査結果と提言の間に飛躍があり、結び付いていないと感じた。もう少し説得力のある結論・提言へ見直してみてもよい。
- 青山学院大学の古庄教授が、オランダの小中学生と、オランダの日本人学校の小中学生と、日本の小中学生を比較して、自尊感情を含むQOL尺度（Quality of Life＝生活の質の尺度）を調べている。日本の子どもの場合には自己肯定感が高い場合にも自己否定感も強いのではないかと述べている。
- ほめるということが一番の提言として挙げられているが、ほめるのはなかなか難しい。最も簡単で有効なものは「ありがとう」である。お礼とともに相手の存在価値を認める意味もある。人の役に立っている、必要とされているという気持ちになる。
- 文科省作成の「生徒指導提要」が生徒指導のダイジェストという形で扱われている。この中で自己肯定感という言葉が三つの箇所に出ている。学校で集団を指導する時、地域社会の教育力に関わって、社会の形成者にやがてなる子ども達の資質に関わる部分として自己肯定感を高めていくことが大切であると述べている。
- 生徒指導の機能を生かしたわかる授業の推進をお願いしている。「自己存在感、共感的な人間関係、自己決定」を意識し、わかった、できた、認められた、等の感覚を与え自己肯定感が育っていく。
- 来年度もテーマが継続されるなら、関わる教員や家庭がどのような形でほめるということ、自己肯定感が育むことについて取り組まれているのか、そういう側面からアプローチするのもよいと思う。



		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
27	家族は自分のためを思って、声をかけたり、注意してくれたりしますか。(1つにマーク)	134	46	17	3	0
28	家での約束やきまりを守っていますか。(1つにマーク)	68	93	31	8	0
29	自分が困っている時、家族が解決してくれますか。(1つにマーク)	89	64	37	10	0
30	家族は他の人の悪口を言いますか。(1つにマーク)	20	30	50	100	0
31	自分は先生からよくほめられますか。(1つにマーク)	16	78	84	22	0

32	どんな場面でほめられることが多いですか。(複数回答可)	
	授業中	62
	テスト等成績	39
	当番・係活動中	60
	部活・特別練習中	40
	給食の時間	31
	清掃中	48
	提出物	18
	生活面(遅刻・服装・態度)	36
	友達関係	38

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
33	自分は先生からよくしかられますか。(1つにマーク)	26	59	90	25	0

34	どんな場面でしかられることが多いですか。(複数回答可)	
	授業中	86
	テスト等成績	11
	当番・係活動中	22
	部活・特別練習中	17
	給食の時間	27
	清掃中	28
	提出物	51
	生活面(遅刻・服装・態度)	31
	友達関係	39

		自分が悪かったと思う	なんで怒られたかよくわからない	そんなことで怒ることはないと思う	何も感じない	無回答
35	しかられた時どんなことを考えますか。(1つにマーク)	173	9	13	5	0

36	先生に関わってほしい時はどんな時ですか。(複数回答可)	
	勉強がわからない時	112
	人間・友達関係のトラブル	84
	家族の悩み	8
	クラス全体の色々な問題	53
	部活・特別練習の時	18
	休み時間一緒に遊ぶ	57
	関わってほしくない	12

		1, 2人	3~5人	5~9人	10人以上	いない	無回答
37	よく一緒にいる友達は何人いますか。(1つにマーク)	48	79	31	40	2	0

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
38	友達といることが楽しいと思いますか。(1つにマーク)	165	29	2	4	0

		スポーツ	ゲーム	本や漫画	会って話	メール・電話	無回答
39	友達と何をしている時が1番楽しいですか。(1つにマーク)	84	64	4	47	1	0

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
40	自分は友達からよくほめられますか。(1つにマーク)	27	60	73	39	1
41	自分は友達からよく注意されますか。(1つにマーク)	25	48	78	48	1

		先生に言う	先生に言うようにすすめる	内緒にしようとすすめる	気づかなかったことにする	無回答
42	仲の良い友達が教室でボールを投げている、花びんを割ってしまいました。それを見てあなたはどうしますか。(1つにマーク)	67	121	7	4	1

## 小学校6年生 単純集計

設問番号 設問

1	学年	4年		6年	200	中1		中2
2	あなたの性別を教えてください。	男子	98	女子	102	無回答	0	

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
3	相手の気持ちがわかる方だと思いますか。(1つにマーク)	15	123	56	6	0
4	目の前の活動に対して、具体的なめあてを持つことができますか。(1つにマーク)	22	108	68	2	0
5	提出物や宿題を決められた日までに出すことができますか。(1つにマーク)	100	60	35	5	0
6	困ったことがあったら、調べたり相談したりして、こうしたらよいという考えを持てますか。(1つにマーク)	34	89	69	8	0
7	理由をはっきりさせて、人に自分の考えを伝えることができますか。(1つにマーク)	22	92	69	17	0
8	友達の話聞いていて、自分と考えが違った時どうすることが多いですか。(1つにマーク)	21	40	94	45	0
9	自分は経験したことや学んだことを他で生かしていますか。(1つにマーク)	42	114	40	4	0
10	体験や活動をした時に自分を振り返っていますか。(1つにマーク)	32	97	64	7	0
11	自分の事が好きだと思いますか。(1つにマーク)	23	54	86	37	0
12	自分には必要とされていると思いますか。(1つにマーク)	10	80	87	23	0
13	自分にはいいところがたくさんあると思いますか。(1つにマーク)	13	60	101	26	0
14	自分は誰かというより、ひとりであることが楽しいと思いますか。(1つにマーク)	16	28	69	87	0

		家族	友達	学校の先生	その他の人	いない	無回答
15	自分の悩みを一番に話せる人は誰ですか。(1つにマーク)	102	79	2	4	13	0
16	自分の悩みを2番目に話せる人は誰ですか。(1つにマーク)	72	75	15	8	30	0
17	あなたを一番大切に思っている人は誰ですか。(1つにマーク)	184	8	1	3	4	0
18	あなたを2番目に大切に思っている人は誰ですか。(1つにマーク)	11	121	23	27	18	0

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
19	家族と学校での出来事をよく話しますか。(1つにマーク)	86	67	39	8	0

		朝食	昼食	夕食	しない
20	家族よく食事をするのはいつですか。(複数回答可)	83	110	173	7

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
21	朝起きた時、家族とあいさつをしますか。(1つにマーク)	96	52	36	16	0
22	家で自分がやる役割(手伝い)は決まっていますか。(1つにマーク)	56	57	54	33	0
23	自分は家でよくほめられますか。(1つにマーク)	17	86	80	17	0

24	家族からどんな場面でほめられることが多いですか。(複数回答可)	
	身のまわりが片付いている時	44
	運動(水泳・マラソン・部活等)で良い結果が出た時	110
	テストの結果が良かった時	109
	身のまわりを進んで片づけをしている時	48
	運動(水泳・マラソン・部活等)で練習を続けている時	42
	進んで家の手伝いをしている時	98
	進んであいさつをした時	18
進んで勉強をしている時	79	

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
25	自分は家でよくしかられますか。(1つにマーク)	53	77	65	5	0

		自分が悪か ったと思う	なんで怒られたか よくわからない	そんなことで怒る ことはないと思う	何も感 じない	無回答
26	しかられた時どんなことを考えますか。(1つにマーク)	130	18	36	16	0

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
27	家族は自分のためを思って、声をかけたり、注意してくれますか。(1つにマーク)	116	72	9	3	0
28	家での約束やきまりを守っていますか。(1つにマーク)	45	113	32	10	0
29	自分が困っている時、家族が解決してくれますか。(1つにマーク)	51	97	39	13	0
30	家族は他の人の悪口を言いますか。(1つにマーク)	13	35	70	82	0
31	自分は先生からよくほめられますか。(1つにマーク)	6	71	99	24	0

32	どんな場面でほめられることが多いですか。(複数回答可)	
	授業中	49
	テスト等成績	29
	当番・係活動中	75
	部活・特別練習中	35
	給食の時間	9
	清掃中	59
	提出物	38
	生活面(遅刻・服装・態度)	26
	友達関係	24

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
33	自分は先生からよくしかられますか。(1つにマーク)	31	51	106	12	0

34	どんな場面でしかられることが多いですか。(複数回答可)	
	授業中	77
	テスト等成績	7
	当番・係活動中	32
	部活・特別練習中	25
	給食の時間	28
	清掃中	40
	提出物	43
	生活面(遅刻・服装・態度)	48
	友達関係	39

		自分が悪か ったと思う	なんで怒られたか よくわからない	そんなことで怒る ことはないと思う	何も感 じない	無回答
35	しかられた時どんなことを考えますか。(1つにマーク)	162	7	13	18	0

36	先生に関わってほしい時はどんな時ですか。(複数回答可)	
	勉強がわからない時	110
	人間・友達関係のトラブル	73
	家族の悩み	12
	クラス全体の色々な問題	71
	部活・特別練習の時	21
	休み時間一緒に遊ぶ	23
	関わってほしくない	28

		1, 2人	3~5人	5~9人	10人以上	いない	無回答
37	よく一緒にいる友達は何人いますか。(1つにマーク)	41	80	44	30	5	0

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
38	友達といることが楽しいと思いますか。(1つにマーク)	133	55	9	3	0

		スポーツ	ゲーム	本や漫画	会って話	メール・電話	無回答
39	友達と何をしている時が1番楽しいですか。(1つにマーク)	58	46	3	88	5	0

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
40	自分は友達からよくほめられますか。(1つにマーク)	16	68	89	27	0
41	自分は友達からよく注意されますか。(1つにマーク)	18	37	101	44	0

		先生に言う	先生に言うようにすすめる	内緒にしようとする	気づかなかったことにする	無回答
42	仲の良い友達が教室でボールを投げている、花びんを割ってしまいました。それを見てあなたはどのようにしますか。(1つにマーク)	40	129	10	21	0

## 中学校 1 年生 単純集計

設問番号 設問

1	学年	4 年		6 年		中 1	200	中 2
2	あなたの性別を教えてください。	男子	82	女子	111	無回答	7	

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
3	相手の気持ちがわかる方だと思いますか。(1つにマーク)	13	137	46	3	1
4	目の前の活動に対して、具体的なめあてを持つことができますか。(1つにマーク)	15	118	63	3	1
5	提出物や宿題を決められた日までに出すことができますか。(1つにマーク)	81	81	30	7	1
6	困ったことがあったら、調べたり相談したりして、こうしたらよいという考えを持てますか。(1つにマーク)	39	105	50	5	1
7	理由をはっきりさせて、人に自分の考えを伝えることができますか。(1つにマーク)	25	91	77	5	2
8	友達の話や話を聞いて、自分と考えが違った時どうすることが多いですか。(1つにマーク)	15	33	117	34	1
9	自分は経験したことや学んだことを他で生かしていますか。(1つにマーク)	34	125	36	3	2
10	体験や活動をした時に自分を振り返っていますか。(1つにマーク)	22	121	49	6	2
11	自分の事が好きだと思いますか。(1つにマーク)	14	57	96	30	0
12	自分は人から必要とされていると思いますか。(1つにマーク)	7	67	100	21	0
13	自分にはいいところがたくさんあると思いますか。(1つにマーク)	5	45	123	24	0
14	自分は誰かというより、ひとりであることが楽しいと思いますか。(1つにマーク)	15	33	76	74	2

		家族	友達	学校の先生	その他の人	いない	無回答
15	自分の悩みを1番に話せる人は誰ですか。(1つにマーク)	77	94	1	8	17	3
16	自分の悩みを2番目に話せる人は誰ですか。(1つにマーク)	75	62	21	14	25	3
17	あなたを1番大切に思っている人は誰ですか。(1つにマーク)	163	15	0	6	13	3
18	あなたを2番目に大切に思っている人は誰ですか。(1つにマーク)	16	116	17	23	23	5

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
19	家族と学校での出来事をよく話しますか。(1つにマーク)	78	76	36	7	3

		朝食	昼食	夕食	しない
20	家族よく食事をするのはいつですか。(複数回答可)	50	68	124	9

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
21	朝起きた時、家族とあいさつをしますか。(1つにマーク)	89	66	30	13	2
22	家で自分がやる役割(手伝い)は決まっていますか。(1つにマーク)	39	59	76	24	2
23	自分は家でよくほめられますか。(1つにマーク)	9	60	109	17	5

24	家族からどんな場面でほめられることが多いですか。(複数回答可)	
	身のまわりが片付いている時	32
	運動(水泳・マラソン・部活等)で良い結果が出た時	78
	テストの結果が良かった時	94
	身のまわりを進んで片づけをしている時	28
	運動(水泳・マラソン・部活等)で練習を続けている時	33
	進んで家の手伝いをしている時	62
	進んであいさつをした時	18
	進んで勉強をしている時	56

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
25	自分は家でよくしかられますか。(1つにマーク)	48	65	76	7	4

		自分が悪かったと思う	なんで怒られたかよくわからない	そんなことで怒ることはないと思う	何も感じない	無回答
26	しかられた時どんなことを考えますか。(1つにマーク)	127	13	39	18	3

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
27	家族は自分のために思って、声をかけたり、注意したりしてくれますか。(1つにマーク)	74	96	21	5	4
28	家での約束やきまりを守っていますか。(1つにマーク)	46	110	36	5	3
29	自分が困っている時、家族が解決してくれますか。(1つにマーク)	39	92	53	9	6
30	家族は他の人の悪口を言いますか。(1つにマーク)	12	31	81	72	4
31	自分は先生からよくほめられますか。(1つにマーク)	5	41	122	29	3

32	どんな場面でほめられることが多いですか。(複数回答可)	
	授業中	24
	テスト等成績	29
	当番・係活動中	44
	部活・特別練習中	72
	給食の時間	3
	清掃中	25
	提出物	27
	生活面(遅刻・服装・態度)	16
	友達関係	20

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
33	自分は先生からよくしかられますか。(1つにマーク)	12	55	116	14	3

34	どんな場面でしかられることが多いですか。(複数回答可)	
	授業中	48
	テスト等成績	3
	当番・係活動中	18
	部活・特別練習中	50
	給食の時間	11
	清掃中	38
	提出物	34
	生活面(遅刻・服装・態度)	32
	友達関係	9

		自分が悪かったと思う	なんで怒られたかよくわからない	そんなことで怒ることはないと思う	何も感じない	無回答
35	しかられた時どんなことを考えますか。(1つにマーク)	140	10	25	21	4

36	先生に関わってほしい時はどんな時ですか。(複数回答可)	
	勉強がわからない時	77
	人間・友達関係のトラブル	52
	家族の悩み	7
	クラス全体の色々な問題	37
	部活・特別練習の時	22
	休み時間一緒に遊ぶ	7
	関わってほしくない	16

		1, 2人	3~5人	5~9人	10人以上	いない	無回答
37	よく一緒にいる友達は何人いますか。(1つにマーク)	30	96	49	22	1	2

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
38	友達といることが楽しいと思いますか。(1つにマーク)	143	47	1	6	3

		スポーツ	ゲーム	本や漫画	会って話	メール・電話	無回答
39	友達と何をしている時が1番楽しいですか。(1つにマーク)	36	28	12	105	17	2
		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	
40	自分は友達からよくほめられますか。(1つにマーク)	11	68	96	22	3	
41	自分は友達からよく注意されますか。(1つにマーク)	9	48	116	23	4	
		先生に言う	先生に言うようにすすめる	内緒にしようとする	気づかなかつたことにする	無回答	
42	仲の良い友達が教室でボールを投げている、花びんを割ってしまいました。それを見てあなたはどうしますか。(1つにマーク)	18	148	18	14	2	

## 中学校2年生 単純集計

設問番号	設問					中2	200		
1	学年								
2	あなたの性別を教えてください。	男子	84	女子	112	無回答	4		
		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答			
3	相手の気持ちがわかる方だと思いますか。(1つにマーク)	14	115	67	4	0			
4	目の前の活動に対して、具体的なめあてを持つことができますか。(1つにマーク)	12	97	82	9	0			
5	提出物や宿題を決められた日までに出すことができますか。(1つにマーク)	70	71	46	12	1			
6	困ったことがあったら、調べたり相談したりして、こうしたらよいという考えを持てますか。(1つにマーク)	30	103	62	4	1			
7	理由をはっきりさせて、人に自分の考えを伝えることができますか。(1つにマーク)	20	86	85	8	1			
8	友達の話聞いていて、自分と考えが違った時どうすることが多いですか。(1つにマーク)	16	31	114	39	0			
9	自分は経験したことや学んだことを他で生かしていますか。(1つにマーク)	24	124	47	5	0			
10	体験や活動をした時に自分を振り返っていますか。(1つにマーク)	24	87	81	7	1			
11	自分の事が好きだと思えますか。(1つにマーク)	16	40	91	53	0			
12	自分は人から必要とされていると思えますか。(1つにマーク)	11	60	106	22	1			
13	自分にはいいところがたくさんあると思えますか。(1つにマーク)	4	45	111	37	3			
14	自分は誰かというより、ひとりであることが楽しいと思えますか。(1つにマーク)	11	31	86	69	3			
		家族	友達	学校の先生	その他の人	いない	無回答		
15	自分の悩みを1番に話せる人は誰ですか。(1つにマーク)	55	106	3	15	17	4		
16	自分の悩みを2番目に話せる人は誰ですか。(1つにマーク)	74	60	17	18	28	3		
17	あなたを1番大切に思ってくれている人は誰ですか。(1つにマーク)	162	19	0	8	7	4		
18	あなたを2番目に大切に思ってくれている人は誰ですか。(1つにマーク)	17	130	12	22	19	0		
		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答			
19	家族と学校での出来事をよく話しますか。(1つにマーク)	68	67	41	20	4			
		朝食	昼食	夕食	しない				
20	家族よく食事をするのはいつですか。(複数回答可)	57	62	153	13				
		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答			
21	朝起きた時、家族とあいさつをしますか。(1つにマーク)	73	63	38	23	3			
22	家で自分がやる役割(手伝い)は決まっていますか。(1つにマーク)	30	55	70	42	3			
23	自分は家でよくほめられますか。(1つにマーク)	9	60	104	26	1			

24	家族からどんな場面でほめられることが多いですか。(複数回答可)	
	身のまわりが片付いている時	27
	運動(水泳・マラソン・部活等)で良い結果が出た時	113
	テストの結果が良かった時	83
	身のまわりを進んで片づけをしている時	30
	運動(水泳・マラソン・部活等)で練習を続けている時	52
	進んで家の手伝いをしている時	62
	進んであいさつをした時	7
	進んで勉強をしている時	69

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
25	自分は家でよくしかられますか。(1つにマーク)	37	66	76	20	1

		自分が悪かったと思う	なんで怒られたかわからない	そんなことで怒ることはないと思う	何も感じない	無回答
26	しかられた時どんなことを考えますか。(1つにマーク)	89	23	65	21	2

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
27	家族は自分のためを思って、声をかけたり、注意したりしてくれますか。(1つにマーク)	76	88	25	8	3
28	家での約束やきまりを守っていますか。(1つにマーク)	49	93	41	15	2
29	自分が困っている時、家族が解決してくれますか。(1つにマーク)	28	90	60	19	3
30	家族は他の人の悪口を言いますか。(1つにマーク)	19	33	70	72	6
31	自分は先生からよくほめられますか。(1つにマーク)	3	54	106	33	4

32	どんな場面でほめられることが多いですか。(複数回答可)	
	授業中	27
	テスト等成績	23
	当番・係活動中	37
	部活・特別練習中	89
	給食の時間	6
	清掃中	33
	提出物	31
	生活面(遅刻・服装・態度)	28
	友達関係	25

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
33	自分は先生からよくしかられますか。(1つにマーク)	10	45	117	25	3

34	どんな場面でしかられることが多いですか。(複数回答可)	
	授業中	53
	テスト等成績	12
	当番・係活動中	14
	部活・特別練習中	65
	給食の時間	8
	清掃中	37
	提出物	49
	生活面(遅刻・服装・態度)	45
	友達関係	6

		自分が悪かったと思う	なんで怒られたかわからない	そんなことで怒ることはないと思う	何も感じない	無回答
35	しかられた時どんなことを考えますか。(1つにマーク)	127	12	21	29	11

36	先生に関わってほしい時はどんな時ですか。(複数回答可)	
	勉強がわからない時	103
	人間・友達関係のトラブル	47
	家族の悩み	10
	クラス全体の色々な問題	45
	部活・特別練習の時	47
	休み時間一緒に遊ぶ	6
関わってほしくない	34	

		1, 2人	3~5人	5~9人	10人以上	いない	無回答
37	よく一緒にいる友達は何人いますか。(1つにマーク)	23	107	42	20	2	6

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
38	友達といることが楽しいと思いますか。(1つにマーク)	143	44	7	1	5

		スポーツ	ゲーム	本や漫画	会って話	メール・電話	無回答
39	友達と何をしている時が1番楽しいですか。(1つにマーク)	47	19	4	116	10	4

		そう思う	割とそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
40	自分は友達からよくほめられますか。(1つにマーク)	7	67	108	15	3
41	自分は友達からよく注意されますか。(1つにマーク)	12	46	111	30	1

		先生に言う	先生に言うようにすすめる	内緒にしようとすすめる	気づかなかつたことにする	無回答
42	仲の良い友達が教室でボールを投げている、花びんを割ってしまいました。それを見てあなたはどのようにしますか。(1つにマーク)	21	143	13	20	3